

でんさいネットをご利用のお客さまへ

しんきん電子記録債権システムにおいて、下記の発生条件にあるパソコンにおいて「一括請求 Assist」を起動した際に「予期しないエラーが発生しました」というエラーメッセージが表示され、OK ボタンを押下するとそのままアプリケーションが起動せず終了する事象が発生しています。

《発生条件》

メーカー OS	Outlook2010	Outlook2013	Outlook2016	Outlook2019
Windows7	エラー発生無	エラー発生無	エラー発生無	エラー発生無
Windows8.1	エラー発生無	エラー発生無	エラー発生無	エラー発生無
Windows10 Ver.1809 未適用	エラー発生無	エラー発生無	エラー発生無	エラー発生無
Windows10 Ver.1809 Ver.1809	<u>エラー発生</u>	<u>エラー発生</u>	<u>エラー発生</u> KB4462147 適用以前 エラー発生無 KB4462147 適用以降	エラー発生無

(注) KB4462147 Microsoft 社が 2019 年 2 月 5 日にリリースの更新プログラム

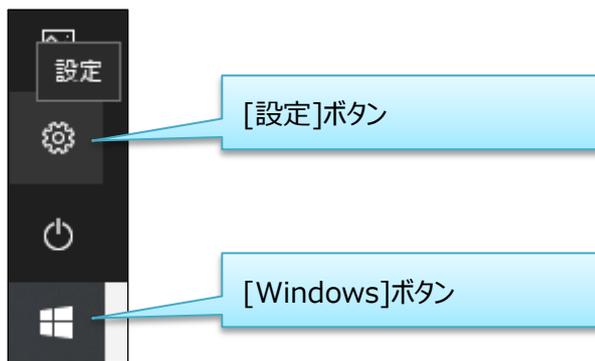
同エラーが発生した場合は、上記発生条件と照らし合わせ「エラー発生」の組合せかどうか確認していただき、下記のご対応をお願いいたします。

- Outlook のバージョンに合わせ、別紙 1 または別紙 2 のご対応をお願いします。
なお、Outlook2010/2013 をご利用の場合は、Microsoft 社から更新プログラムが配布（配布時期は未定）されるまでの間は Outlook を起動するたびに同事象が再発します。お手数をおかけしますが、都度別紙 1 のご対応をお願いします。
※ 「一括請求 Assist」の次回バージョンアップ（ver1.9、2.5、3.3 は 2020 年 1 月予定）後は、当事象は発生しなくなります。
- エラー発生の場合の組合せでない場合
他の原因が考えられるので、愛媛信用金庫 営業統括部（0120-132-220）へお問い合わせください。

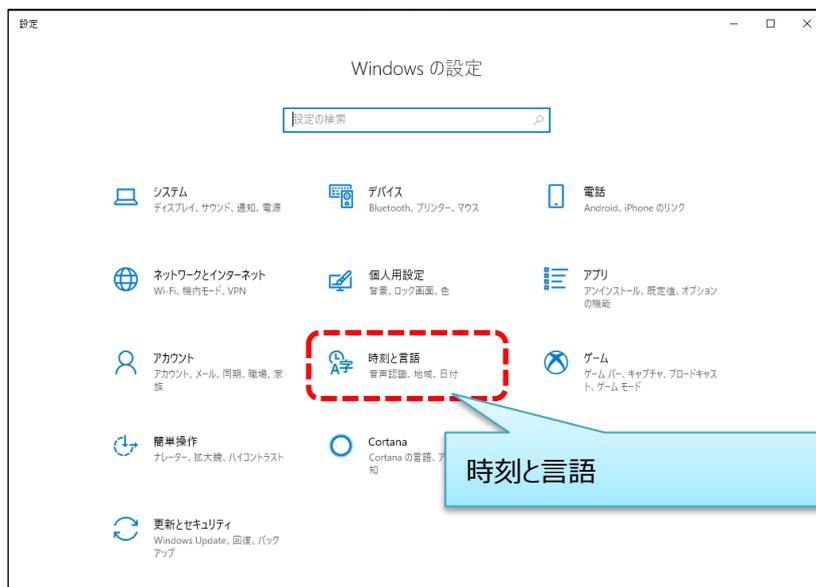
Outlook2010/2013 をご利用頂いている場合の対処手順

1 日付書式設定によるレジストリ値の復活

- ① [Windows]ボタンを押下し、歯車マークの[設定]ボタンを選択します。



- ② [時刻と言語]を選択します。



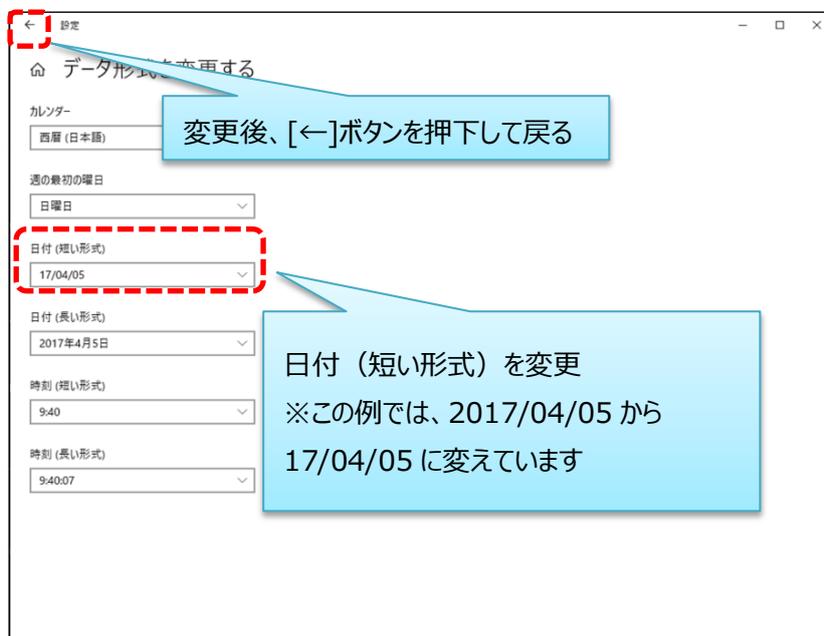
③ [地域]を選択します。



④ [データ形式を変更する]を選択します。



- ⑤ 【日付（短い形式）】を画面表示時に見えていた形式とは別のもの（別の形式であればどれでも構いません）に変更し、左上の[←]ボタンを押下して元の画面に戻ります。



- ⑥ 再度、【データ形式を変更する】を選択します。



- ⑦ 【日付（短い形式）】を【西暦 4 桁/月 2 桁/日 2 桁】に変更し、左上の[←]ボタンを押下して元の画面に戻ります。

← 設定

データ形式を変更する

カレンダー
西暦 (日本語)

週の最初の曜日
日曜日

日付 (短い形式)
2017/04/05

日付 (長い形式)
2017年4月5日

時刻 (短い形式)
9:40

時刻 (長い形式)
9:40:07

変更後、[←]ボタンを押下して戻る

日付 (短い形式) を変更
※この例では、17/04/05 から
2017/04/05 に変えています

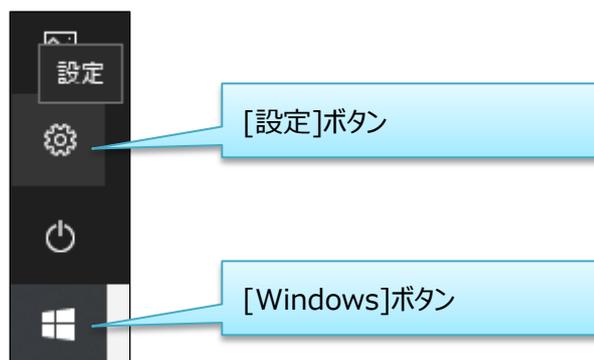
- ⑧ 更新後、「設定」画面を閉じます。

—以上—

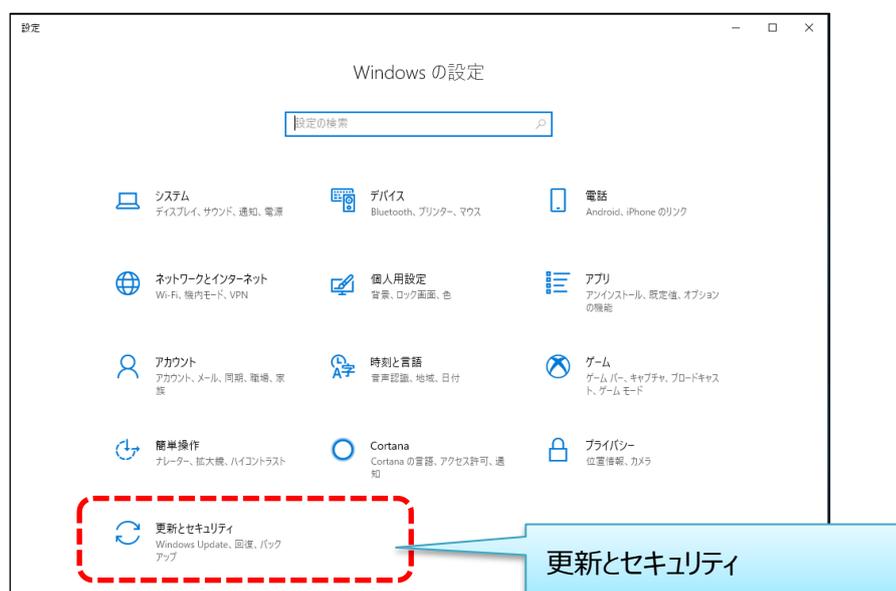
Outlook2016 をご利用頂いている場合の対処手順

1 Outlook の更新プログラム (KB4462147) の適用

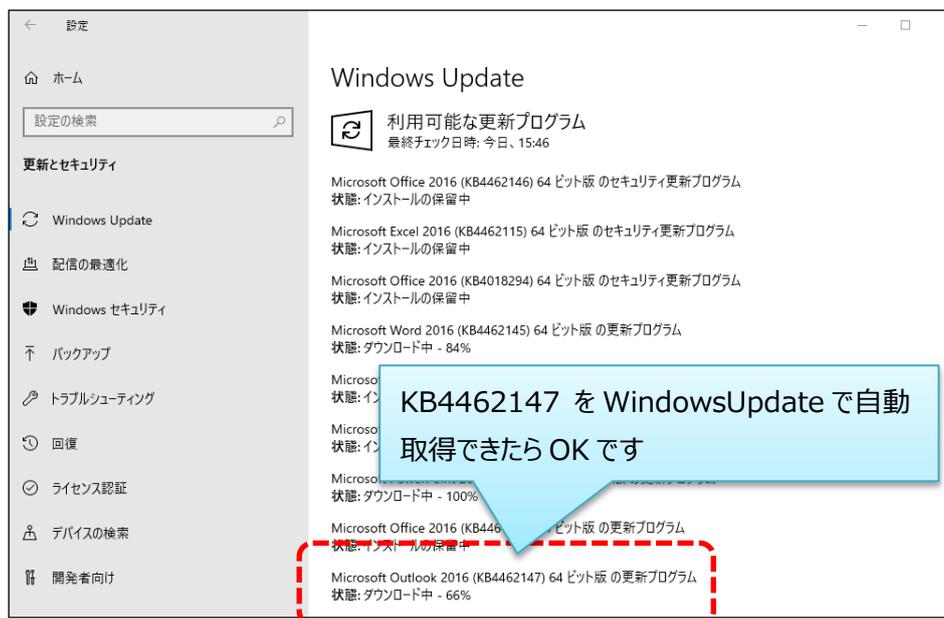
- ① [Windows]ボタンを押下し、歯車マークの[設定]ボタンを選択します。



- ② [更新とセキュリティ]を選択します。



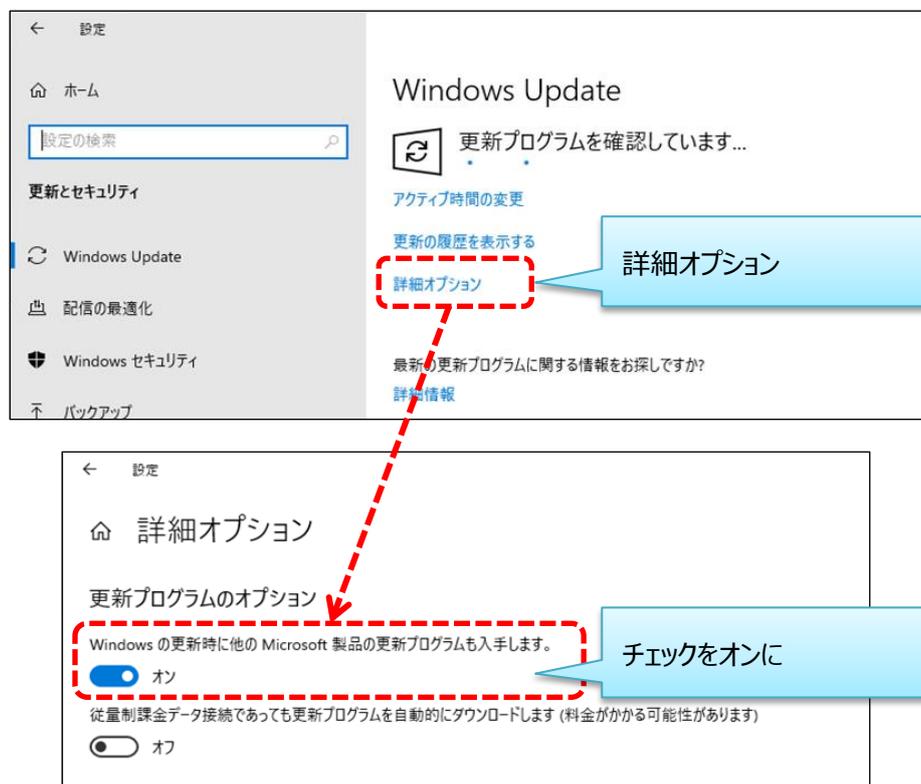
③ Windows Update を実行し、更新プログラム KB446217 を取得します。



④ 更新後、「設定」画面を閉じます。

【補足事項】

- Office の更新プログラムが取得できない場合は、「設定オプション」画面で[Windows の更新時に他の Microsoft 製品の更新プログラムも入手します]のチェックをオンにしてください。

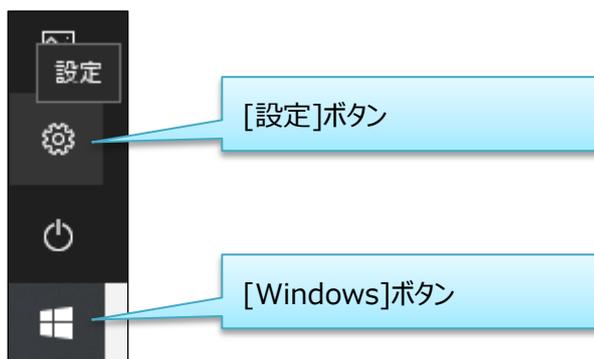


- ネットワーク環境等の要因で Windows Update に失敗する場合は、Microsoft 社のダウンロードセンターから取得して手動アップデートをすることも可能です。

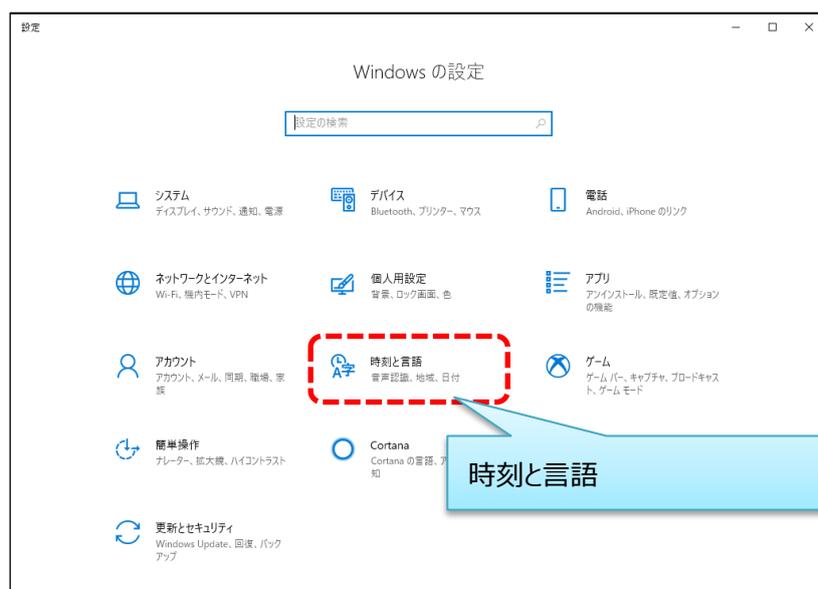
<https://support.microsoft.com/ja-jp/help/4462147/february-5-2019-update-for-outlook-2016-kb4462147>

2 日付書式設定によるレジストリ値の復活

- ① [Windows]ボタンを押下し、歯車マークの[設定]ボタンを選択します。



- ② [時刻と言語]を選択します。



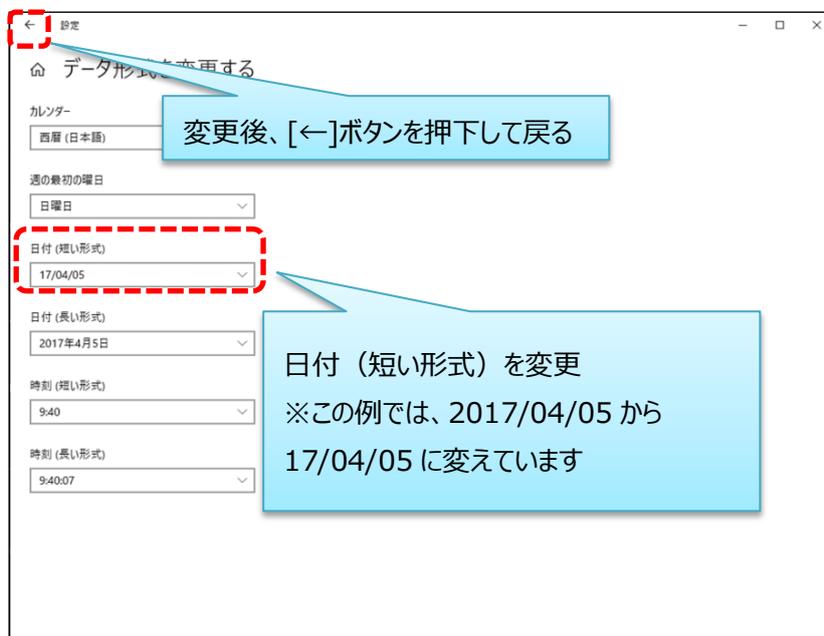
③ [地域]を選択します。



④ [データ形式を変更する]を選択します。



- ⑤ 【日付（短い形式）】を画面表示時に見えていた形式とは別のもの（別の形式であればどれでも構いません）に変更し、左上の[←]ボタンを押下して元の画面に戻ります。



- ⑥ 再度、【データ形式を変更する】を選択します。



- ⑦ 【日付（短い形式）】を【西暦 4 桁/月 2 桁/日 2 桁】に変更し、左上の[←]ボタンを押下して元の画面に戻ります。

← 設定

データ形式を変更する

カレンダー
西暦 (日本語)

週の最初の曜日
日曜日

日付 (短い形式)
2017/04/05

日付 (長い形式)
2017年4月5日

時刻 (短い形式)
9:40

時刻 (長い形式)
9:40:07

変更後、[←]ボタンを押下して戻る

日付 (短い形式) を変更
※この例では、17/04/05 から
2017/04/05 に変えています

- ⑧ 更新後、「設定」画面を閉じます。

—以上—